

審議会等の会議結果報告書

【担当課】生涯学習課図書館係

会議の名称	令和7年度第2回図書館協議会		
開催日時	令和7年10月24日（金）午後3時00分～4時30分		
開催場所	茅野市図書館		
出席者	矢崎智義委員長、松岡隆志副委員長、奥原貴美子委員、小田由美委員、志水琴美委員、田村満利子委員、千野憲一委員、山田哲靖委員、山田教育長、小池生涯学習部長、矢嶋生涯学習課長、名取元子茅野市こども読書活動応援センター代理、読り一む in ちの事務局梅津栄美、伊藤図書館長、図書館職員		
欠席者			
公開・非公開の別	(公開)・非公開	傍聴者の数	0人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容		
生涯学習課長	<p>1 開会（生涯学習課長）</p> <p>お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。これより第2回図書館協議会を開会させていただきます。今日の内容ですが、次第にあります通り中川先生から図書館についての話をお聞きするのがメインになります。都合により中川先生とお繋ぎする時間が30分程度遅れます。ですので、まず初めに先週テレビで放送されたクローズアップ現代を皆さんに見ていただければと思います。今回は職員も同席して、協議会のメンバーと職員とで共通認識が持てればと思っています。どうぞよろしくお願いします。</p>		
生涯学習課長	<p>2 映像視聴 (クローズアップ現代を視聴する)</p> <p>3 意見交換</p> <p>皆さまいかがでしたでしょうか？非常に示唆に富む内容だったのではないかと思います。この放送はたまたま紹介してもらったのですが、内容がすごいなと思いましたし、茅野市ですぐにでもできるようなこともあって非常に参考になったと思います。中川先生がまだ準備ができていないということです。皆さまから感想を一言ずついただければと思います。</p>		
委員	<p>私もこの放送は自宅で見っていました。今日もう一度見せていただけてとても嬉しかったです。資料に載っている吉成さんの本ですが、図書館に関係する本を読んでくださいと委員長さんに言われたので読みました。本の中で言いたいことをかいつまんで書いてある部分もあれば、ご苦労されたことも書いてありましたので、それとリンクするような内容だなと思って放送を見ていたのですが、1番は「ここまでよくできたな」と思って感心しました。</p> <p>本の中では、こういう形にするまでに1番ネックだったのは司書と書いてありました。私も司書なのでわかるのですが、司書としてのポリシーだとかプライドがあるものですから、余所から来た人がいくら新しいものを出してきてもついていけないというところがあって、とてもぶつかり合ったということが本の中に書いてありました。ですので、その部分をきちんとクリアに</p>		

<p>委員</p>	<p>して、みんなが同じ方向を向いていくようにするのは本当に大変なことだったのではないかと思います。</p> <p>でも、この図書館にできたのだから茅野でもできるという気がします。図書館というものの意識を変えれば、貸本屋から脱却して違う意味での図書館に変わるのではないかと思います。</p> <p>私は今日初めて見させていただいたのですが、住んでいるのが塩尻市で、塩尻市の図書館を人が集まりやすい図書館に作り直した経緯を見てきています。茅野市においては建物を建て替えずにできる方法を模索していければと感じました。放送の中で図書館にお花を植えに来る方がいらっしゃいましたが、地域の方たちがただ本のために図書館に来るのではなくて、図書館を通じた交流の場になっていけるように、そのためにはどうしていったらいいのか、どういうふうに声をかけて集まってもらえばいいのかを考えていけばいいのかなと思いました。</p> <p>図書館は本を読むための場所という固定概念を壊して、集まってもらえる場所にするにはどうすればいいのかということを、放送を見ながら考えさせていただきました。</p>
<p>委員</p>	<p>私は月に1度くらいの頻度で地方の街へ出かけるのですが、その時にテレビで取り上げられた所とはまた別の図書館ですが、綺麗な図書館があるのが目に留まって行ってみたいと思っています。今日はこういうシステムがあるのだなと思って見させていただきました。私たちの子どもの頃からあるイメージの図書館から変わってきていて、固定観念が無くなって新しい形の図書館が求められていると理解しました。</p>
<p>委員</p>	<p>私も初めて見させていただいたのですが、目から鱗と思うようなことがたくさんありました。絵本の活動をやっているのでもう子どもに関するものが気になるのですが、図書館というのは子どもが泣いたりして騒ぐとお母さんが外に連れて出ないといけない場所だと私も思っていたのですが、子どもが楽しく過ごせる空間だったり、お母さん同士が友達を作って子育ての話が出来るような空間であることがとても大事なのではと思いました。</p> <p>最後に、若者がコメントを書いて交流する場が紹介されていましたが、ツルヤさんもお客さんがコメントを書くと、お店の人がコメントを書いて貼ってくれるコーナーがあるんです。商品のことで1度書いたことがあるのですが、とっても丁寧にお返事を書いてくださってそれだけで行きたくなくなりました。ですので、最後に紹介された図書館の取り組みがとても良かったと思いました。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>ここも「カリキン」がありますよね？茅野市の大学生が考えた同じようなものがまさに図書館に置いてあります。</p>
<p>委員</p>	<p>きっと後ほど委員長もおっしゃると思いますけれど、もう20年くらい前のことになりますが、この図書館の美術館だった部分が市民館の方に移った時に、どんぐり図書室ができました。その頃は、玄関で靴を脱いで上がった奥に子どもの絵本コーナーがあったので、なんて昔ながらの図書館なんだろうと思っていました。どんぐり図書室はその頃から子どもが遊んだり、お母さんが読み聞かせをしたり、紙芝居をしたりして良いところでした。そういう場所にしようということで、どんぐり図書室ができて、実は私も9年ほど子ども読書活動応援センターの職員として図書館に居たのですが、仕事をしているとお母さんの読み聞かせの声がしたり、子どもさんが本を読んで飛び</p>

	<p>跳ねていたりする音が聞こえていました。それが、いつの間にか子どもが居なくてシーンとした図書館になってしまいました。</p> <p>ですので、その時のメンバーたちの想いが継承されていないと感じます。それが私はショックで、子どもが騒いでもいい図書館のことが紹介されていましたが、茅野なんか同じことを20年前から考えているわよと思いました。これは行政の方たちにも引き継いでいって欲しいし、図書館の職員にも引き継いでいって欲しいことです。当時はとても賑やかだったし、顔見知りの司書の方と立ち話もできました。テレビに出てきた図書館のようにあれだけ広々とした空間というのは作れないとは思いますが、もう一度立ち返って、やっていただきたいな、一緒にやりたいなと思っています。</p>
委員	<p>私はたまたま夏に岐阜に行くことがあって紹介されていた図書館に実際に行きました。行ってみると本当に広くて、すごい図書館だなと思いました。たくさん人で溢れていましたし、1階にも役場のようなスペースがあって、小さいお子さんやお年寄りまで様々な年齢層の人がいてびっくりしました。</p> <p>ただ、あれだけの建物をどうやって維持していくのだろうか？とは思いましたので、これから何を工夫してやっていけばいいか考えなければいけないと思いました。</p>
生涯学習課長	<p>委員長がこの放送を職員さんと見て、話をしたいですとおっしゃいましたので、職員の皆さんからひと言ずついただきたいと思います。</p>
職員	<p>私はこの放送は見ていませんでしたので、今日見て大変参考になりましたし、面白く見させていただきました。1番心に残ったことは、ワークショップを市民の方々と一緒に考えたと言っていたところです。こちらからお願いしてボランティアを募集してやっていただくのではなく、市民の方たちに自発的に参加していただくのはとても難しいことだと思います。どうすれば自発的な活動に繋がっていくのかの成功の事例もありましたので参考にさせていただきます。</p>
職員	<p>私は以前別の自治体の図書館に勤めていたのですが、その際にクローズアップ現代の中でも出てきた札幌市の情報館の以前の館長さんにお話を聞く機会がありました。貸出をしない図書館なのですが、年間100万人ほど来館者がいる図書館です。図書館というと貸出をするところだというイメージがその当時ありましたが、貸出をしないで新しい情報を利用者に提供する場所、本を読む場所というよりは課題を解決するための場所として存在するという言葉に感銘を受けたことを今改めて思い出しました。こちらに来てまだ日が浅いのですが、これからの茅野市の図書館作りの参考になるような内容でした。</p>
職員	<p>午後の窓口を担当しています。よろしくお願ひします。特に資格なども持っていないので、やらせていただいているのですが、私が図書館に勤めていると言うと、近所のお母さんたちはみんな「行きにくい」と言うんです。騒いだらいけないとか、ジロジロ見られている感じがするとか、緊張すると言われるんです。</p> <p>私は昔から子どもを連れて来ていて、茅野市の図書館が大好きでよく来ていたのですが、私が勤めていると言うと、みんな「行ったことない」とか「行く人は真面目だね」と言われてしまいます。図書館はこうあるべきだ、とかそういうのはわからないのですが、静かで私は好きな図書館なのですが、もう少し喋りやすいようなスペースがあれば皆さん来てくれるのかな、と思いました。</p>

職員	<p>私も初めて見させていただいたのですが、図書館というと静かにしていかなくてはいけないというイメージがありましたが、紹介されていた図書館はとても開放的で賑やかで従来のイメージを覆すような図書館でした。お子さん連れのお客さんが多いので、児童コーナーにいても親御さんが気を遣って「うるさくしちゃいけないよ」と会話しているのが聞こえるので、茅野市の図書館ももっと開放的な図書館にしていければいいなと思いました。</p>
職員	<p>私も今回初めて見させていただきました。うらやましいなと思う点がたくさんありましたが、自分の仕事に置き換えて今すぐ何ができるだろうと考えた時に、利用者さんが日々の暮らしの中で抱えている課題を公共図書館が解決できるような場所にする、ネット等のコンテンツも組み合わせ提供ができるようにするという事なのかなと思います。その中で、ネットの情報とは違うものが本に載っていることもありますし、旬の情報を利用者さんにお届けできればと思います。まずしっかり選書をする事や利用者さんの手に取りやすいように書架の整理をしたり、入れ替えをするなどして必要な本が利用者さんに届けられる努力をしていきたいと思いました。</p>
職員	<p>4月から勤務させていただいています。よろしくお願ひ致します。今放送を拝見させていただいて思ったことは、市民の皆さんの力をいかに取り込めるかということと、自分たちの居場所が図書館の中にあつてとてもありがたいと利用者さんがおっしゃっていた言葉が自分の中で印象に残りました。</p> <p>実際にこちらに勤務させていただいて様子を見てみると、土日は特にご家族の方がどんぐり図書室の方にいらっしゃることが多いです。この前もお父さんがお子さん3人を前にして紙芝居をやっていたので、すごいなと思つて聞き耳を立てながら様子を見てみると、お父さんは恥ずかしそうにこちらをチラチラ見ながらやっていたらっしゃいました。すごく良いことだなと思うのですが、恥ずかしいことだという感覚があるのかなと思いました。</p> <p>それから、お子さん連れのお母さんなどが居ると、私はお喋りがしたい方なので声をかけてお話をしてしまうのですが、楽しそうに来てくださる常連さんたちがたくさんいるなと感じます。お子さんが自由に遊んで騒げる図書館があるということでしたけれど、図書館というのは静かにしなければいけないところだと思つていらっしゃる方がやはりいて、実際に学校の図書館でもあまりお喋りしないように過ごしましょうねと指導されている図書館が多いです。子どもたちの中でも「ここは喋つていい所だよ」「ここはだめな所だよ」という判断が付くようにいろんな図書館があつてもいいのかなと思いました。</p> <p>まだこの図書館に来て日が浅いのですが、1日も早く本の知識を深めながらより良いレファレンスをはじめ、利用者さんのために役立てるように頑張つていきたいと思つています。今後ともどうぞよろしくお願ひします。</p>
職員	<p>私は司書の資格はなく、皆さんの補助をさせていただいています。よろしくお願ひします。他の職員も同じことを言つていましたが、どんぐり図書室で配架をしていますと、お母さんやお父さんが読み聞かせをしているのを私もよく見かけます。良い光景だなと思つてそれを見ていました。ありがたいことにどんぐり図書室は造りが一般コーナーから少し離れていますので、ある程度は声をだしていただいても良い場所だと思つています。去年から大きなぬいぐるみを出したところ、子どもが走つてそのぬいぐるみに倒れ込むようにして遊んでいる姿も見かけます。怪我をしない程度に子どもたちが楽しめる場所を提供出来たらいいなと思つています。なかなか現実には難しいのですが、これからもそういう努力をしていきたいなと思つています。</p> <p>それから、私は展示の担当をさせていただいているのですが、普段あまり皆さんの手に取つていただけない本を敢えて出させていただいたら割と反響</p>

職員	<p>が良くて、皆さん借りていってくれました。利用者さんが目的を持って来た以外の本を、「これいいね」と思って手に取っていただけるようにこれからも展示の方を工夫していきたいなと思っています。</p> <p>午前中の窓口を担当しています。私も今初めて見させていただいたのですけれど、いいなと思う一方、茅野の図書館は見ていると周囲で季節を感じられる環境の中でウォーキングされている方がたくさんいらっしゃいますし、四季折々の植物が周りにあってすごく綺麗な所だと思います。とても良い環境にあると思います。</p> <p>また、以前の茅野市のアンケートの中で残したい公共施設を市民の方に聞いたところ図書館が1位だったということもあって、すごく大切な施設ですし、茅野市の良さがあると思うのももちろん参考にさせていただくところもありますが、茅野市独自の良さを出していけたらいいなと思いました。</p> <p>それから、昔の図書館の話もお聞きできて、そうだったのだなと勉強になりました。茅野市はどんぐり図書室が少し離れていますので、私も子どもが小さい時によく来ていたのですけれど、騒いでも空間が分かれているので母親としても安心できましたし、子どもが少し騒いでも職員の方たちから暖かく見守っていただけていたという印象がありました。放送に出てきた岐阜の図書館は騒いでもいい図書館ということで紹介されていましたが、茅野市も規模は違いますが子どもたちが本を読むための良い環境があるというふうに感じました。</p> <p>自分が中学生の時に勉強するために図書館を使わせていただいたのですが、元々本が好きで来ていたので、本が好きな人以外の方にも気軽に来ていただけるような場所にしていくということを今の映像を見て勉強させていただきました。ありがとうございます。</p>
職員	<p>昨年富士見町図書館さんに視察に行かせていただいてから、今まで茅野市の図書館でやってこなかったことを何か取り入れることができないかということ考えてきました。今のクローズアップ現代さんの映像は見たことがなかったのですが、参考になることがたくさんあって何ができるかということを考えさせていただきました。</p> <p>やはり市民の方が自発的に何かしたいと思うようなことができないかということを考えて、今日も実は展示替えをしたのですが初めての試みをしています。ただ眺めるだけの展示ではなく参加型の展示にしたいなと思いついて、「あなたは誰推し？戦国武将ナンバー1決定戦」というものを行っております。10人の中から好きな武将を選んで付箋で貼って投票できるようなコーナーを作りました。しばらくしたら誰が一番でしたという結果発表をしようかなと思っています。</p> <p>もうひとつは、徳川15代将軍の名前当てクイズというコーナーを作り、名前の所に蓋を付けて利用者さんが自分でめくれるように初めて考えてやってみましたので帰りがけに皆さん投票していただけたら大変嬉しいです。小さな一歩ではありますが、趣向を変えてできないかということを考えています。展示以外でもできることがないか考えていきたいと思いますので、よろしくお願いします。</p>
職員	<p>私は今年で図書館勤務4年目になるのですが、学生の頃に図書館で勉強した記憶もないですし、図書館というものに触れて来なかったもので、先輩たちに教えていただきながらなんとかここまでやってきました。日が経つにつれて常連のお客さんはもちろん、ここは近くに別荘もあるので新しい人も増えつつ、子どもたちがおはなし会に来たり、その子たちが大きくなって中学生になって閲覧室に勉強しに来たりして、多くの方に利用していただいています。</p>

	<p>先ほどの放送を見させていただいて、ハード面の違いはどうしようもないことですが、何ができるかを考えて図書館業務の中で出てきた廃材を利用しておはなし会に来てくれた子どもたちにプレゼントを作ったり、庭にすごく大きくて立派な栗の木があるのでおはなし会に来て子どもたちにプレゼントでお渡ししています。</p> <p>それから、最近個人的に心掛けているのは、窓口にいつも予約本を取りに来られる常連の方たちに講座のチラシを渡す際にささいな世間話をする事です。利用者さんと職員の間にある壁のようなものを無くすことができれば、もっと身近に感じていただけるのかなと思うので、自分ができることを些細なことでもやっていきたいと思えます。図書館の良いところ、だめなところというのを市民の方から直接お聞きする機会がないということもあるので、先ほどの放送の中で出てきたような市民の方から自発的に行うワークショップみたいなものが出来てくれば茅野市の図書館も少しずつ変わっていくのかなと思えました。何か良いきっかけがあればいいなと思っております。</p>
館長	<p>クローズアップ現代を見させていただいて、ハード面は今の状況ではどうすることもできないことですが、ソフト面で何かできることがあるのではないかとこの模索をこれからもしていきたいと思っております。今職員の皆さんが自分の言葉で自分の思っていることを言ってもらって、いつもは委員長さんや副委員長さんと打ち合わせをするのですが、私の思いでしかお話しできなくて、みなさんがどう思っているのか、どうしたいのかというところまではお話しできませんでしたので、今回こういった機会に皆さんの考えていることを少しでも共有出来たことが良かったなと思いつつ委員さんと職員の話聞いていました。ありがとうございます。</p>
生涯学習課長	<p>ここでお知らせなのですが、中川先生が他の自治体で会議をしていて、それが終わったら ZOOM でお繋ぎすることになっていたのですが、電波の状態が悪くて入れないということなので、残念ですが今日は中川先生の講演会は中止にして次回行うことにさせていただきたいと思っております。</p> <p>ただ、クローズアップ現代と中川先生の話は全く関係がないかというところではなくて、レジュメを見ていただくとクローズアップ現代に図書館が取り上げられたことと同じ内容も書いてあります。ですので、ちょうど先生の話と重なる部分を今日は見ていただけたのかなと思っております。では、映像を見ていただいた感想と意見交換をさせていただければと思います。</p>
副委員長	<p>今年度から副委員長をやらせていただいております。よろしくお願ひ致します。私も今日の映像は放送日にテレビで見えていました。非常に面白いなと思ったのは、図書館が人と繋がる場になりえているということでした。図書館というと今まではひとりで静かに本を読む場所、情報を提供する場所だというのが一般的な図書館の姿だと思っておりましたが、人と人を繋ぐ場になっているのがとても面白いと思えました。</p> <p>放送に出てきた岐阜の図書館を見ると、すごく豊かな空間が実現できているなというのを感じるのですが、何人かの方が言われていたように、では同じような箱が作れるかということそれは難しいと思えますし、箱ができたらそういう空間になるのかということそうでもないと思えます。</p> <p>私たちがこの図書館でそういう繋がり場を作っていくにはどうすればいいのかと思っておりましたが、今職員の皆さんのお話をお聞きすると実際に市民の方に触れながら仕事をされている中に、ヒントがあることを感じました。</p> <p>ここ半年くらい委員長さんや館長さんとお話をさせていただいております。その時の私の印象は、みなさんととても良いアイデアを持たれているのだけ</p>

	<p>ど、それを共有して、さらに新しいことをやろうとするような時間を作るのがなかなか難しいのだらうなと思いました。もしかすると、皆さんが個別に良い思いを持たれているのならば、ちょっとした声掛けだとかやり方で思いを共有して、やれることもあるのではということを感じました。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>ちょっと椅子を動かしてみんなで丸くなっていただければと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>今日はまさかクローズアップ現代を見ると思わなかったものですから、挨拶の言葉を考えていました。その内容は、私はリニューアルの時から関わっていますので、図書館に対して夢があります。それは、病気の時、職場の人間関係に悩んでいる時、親を介護してクタクタになっている時、学生なのに家族の面倒を見なければいけない時、生活が大変すぎて生きる意欲がなくなったというような時など、何かにつらかった時に図書館に行ってみようと思えるような図書館にすることです。それから、生きがいを持ってにこにこして楽しそうに働いている図書館にしたいなと思っています。</p> <p>私はニューヨークの図書館を見てきましたけれど、そこでは毎年何千万、何億という寄附が入ります。そうでなければあんなことはできないと今までには思っていました。茅野の図書館は築50年が経って、人口5万人、蔵書が21万冊という規模ですけれど、色々な図書館を見てきて大事なことは、規模が大きかったり蔵書の数が多かったり立地が良かったりすることだけではないのではないかなと思うようになりました。</p> <p>何年も委員をやってきて私が図書館について知ることができるのは、来館者の数や蔵書の数やこんな事業をしましたということです。でも、市民とどんな関係だったのかということはいくらもわかりません。何が足りないのかなと思ったときに、職員さんたちの話を聞いて職員さん達と一緒にやらないと図書館がもっとよくなっていかないのではないかなと思いました。</p> <p>これは大事なことなのですが、市民の中には図書館についてアイデアを出す人もいれば、苦情を言う人も、ボランティアをしてくれる人もいます。でも、図書館を変えようと思ったり、より良くしようと思ってそれができるのはここに集まっている人だけです。職員さんや図書館協議会の委員さんだけです。実際にやるのは職員さんたちですけれども、図書館協議会をうまく使っていただきたいなと思います。職員さんたちにできないことがあれば図書館協議会がバックアップします。そのようにして、みんなで考えながら進めていければと思っています。</p> <p>ちょっと話が長くなりますが、私の娘がニューヨークに行った時があって、最初の子どもを産みました。私のイメージだとニューヨークは殺伐としていて地下鉄に乗るのはギャングがいたりして危ないというものだったのですが、娘にニューヨークの生活がどうだったか聞くと、ニューヨークの方が日本より良かったと言いました。道で赤ちゃんを連れて歩いていると、みんな声を掛けてくれたそうです。かわいいね、とかいつ生まれたの？とか言ってくれたと。地下鉄に乗ると怖そうに見えるおじさんもパッとどいて座っていいよと言ってくれたそうです。日本に帰ってきたほうが誰も声をかけてくれないし、電車に乗っても大変だと言っていました。先ほど少し話題に上がりましたが、声掛けというのは大事だなと思います。それが日本人はなかなか難しいのですが、ちょっとしたことでも声を掛けてあげると場が和みますし、それをきっかけに人間関係ができてくると思います。司書の仕事は色々あると思いますが、ただ単に本がたくさんあるだけでは意味がないです。そこに人が介在することによって生きてくるものがあると思います。皆さんの知識や経験を誰かに繋ぐことができるのではないかなと思っています。ぜひこれからも職員の方と一緒にゆっくりとでもいいので図書館を良くしていきたいなと思っていますので、よろしくお願ひします。</p>

	<p>もうひとつ、私は小津安二郎の映画祭が好きで今年も見に行きました。メキシコ映画で「型破りな教室」を見ました。アメリカとの国境に近いメキシコの小さな町が舞台で麻薬と暴力と汚職に満ちた町の小学校に新しい担任の教師が赴任して来るのですが、本当に貧しい町なのでゴミ置き場のゴミを売って生活している生徒や、小さい子どもたちが家族にたくさんいてその子どもたちの面倒をみながら学校に来ている生徒の話がでできます。するとその新しく赴任してきた先生は生徒を図書館に連れて行くんです。学校には図書館はとうもないようです。子どもたちが図書館で天文学の本を見たり、哲学の本を読んで、すごく伸びていくというお話でした。おそらく、貧しい町なのでそれほど立派な図書館ではないはずだと思いますが、そんな図書館でもすごい役割をしていました。ですので、皆さんにまずは図書館というのすごい力を持っていることを知っていただいて、それをどう生かすか宝の持ち腐れにならないようにみんなで考えていきたいと思います。ありがとうございました。</p>
生涯学習課長	<p>それでは、委員の皆さんと職員の皆さんに話してもらったので、事務局の方に感想をお聞きしたいと思います。</p>
こども読書活動応援センター長代理	<p>ありがとうございます。番組を見た時に絶対にこれはみんなで見たいと思いましたので、今日は機会をいただけて良かったです。昔はこんな図書館だったのよ、どんぐり図書室はそういう願いもあったのよというお話もお聞きして、そういう姿も時々見られるけれど、ここで読み聞かせしていいのかな？いけないのかな？とおうちの人心配しながらやっている雰囲気も感じるので、子どもが騒いでも良い所だよと市民の皆さんに伝わるようにすることも大切だと感じました。</p> <p>今日は少し嬉しいことがありまして、朝読書参観である中学校に行ったのですが、春に見せていただいた時には空席が多かったり、本は開いているけれど集中しているのかなという生徒もいて心配していました。でも、少し難しい本を2年生の男の子が真剣に読んでいる姿が見られたり、サッカー部のお子さんかなと思いますが、スポーツのノウハウの本ではなく物語の本を読みこんでいる姿があったり、学校の図書館も以前とは雰囲気が変わっていて、生徒さんに本を提供しようとしてくれているというのが感じられました。変わろうとしているのが伝わってきたのがとても嬉しかったです。今日の展示もいつもと違うと入った時思いましたので、そんな風に少しずつでもみんなで何か考えて変えていって、それが良い刺激になって良い方向にいけばいいなということを感じました。ぜひ一緒に関わらせていただけたら嬉しいです。よろしくお願いします。</p>
読り一む in ちの事務局	<p>生涯学習課で読書の森読り一む in ちの事務局をしております。よろしく申し上げます。以前、図書館でも働かせていただいたことがあるので、クローズアップ現代を見てぜひ皆さんに見てもらいたいと思いました。先ほど図書館になかなか行きにくいというお声があるとお話がありましたけれど、私も友人から同じように聞いて残念だな、来てくれればいいのにとずっと感じてきましたので、資料や本がいくらあっても人が介在しないとそれが生きてこないというお話は本当にその通りだと思いました。何かお手伝いできることがあればと思います。私が勤めていた時の反省としては、もっと利用者さんに話しかければよかったということを感じました。</p>
生涯学習部長	<p>私は家にテレビがないものですから、今日初めて見させていただきました。やはりテレビに取り上げられるくらいの図書館なので、すごいというのが第一印象です。ただ、それが茅野市でそのままやろうとするのがいいのかどうかというのは疑問で、良いものを見て踊らされてはいけないという思</p>

<p>教育長</p>	<p>いがあるので、できるだけ地に足をつけて考えたいなと思っています。紹介された中ではすごく地味な取り組みではありましたが、岩手県の図書館でどうを作っている農家さんのところに行って問題解決のために司書さんが取材をするというものがあって、その地域の地理的なものを生かされていると思い、印象に残りました。</p> <p>それから、他の職員さんも同じことを言っていました、この図書館は駅から離れていて車でないと来ることができないような不便な場所にあります。緑に囲まれていてすごく良い環境だと思います。図書館の蔵書ですとか、図書館のあるべき機能はきちんと持たせなければいけないと思いますが、今あるものを少しずつ広げていくのが良いのかなと思います。</p> <p>今日は司書や事務に携わっている職員の意見をお聞きしてすごく感銘を受けました。皆さん本当に現場でご苦労されているし、思っていることを聞いて良かったなと思いましたので、みんなでまた話をして新たな一歩を踏み出してもらえれば良いなと思います。展示で戦国武将の新たな取り組みをすると言っていました、例えばどの武将が好きかというところから一歩踏み込んで、今度は戦国武将に詳しい第一人者みたいな人がもし格安で来てくれるのであれば、投票してくれた皆さんを集めて何か講座をやるとか色んな事ができそうだと思います。今日は良いお話が聞けてとても嬉しかったです。</p> <p>それでは私が最後に話をします。まちづくり懇談会ですが、10回あるうちの9回がここで終わりました。その中で市長が一貫して言っていることは「茅野市は変わる」「茅野市は変える」「変えることができるのは今だけ」ということです。あと10年、15年経った時に今のままでは茅野市がやっつけられない、システムの問題、財政の問題、公共施設の問題、主はそういうことで、図書館は一見安全地帯にいるように見えます。しかし、図書館の在り方を変えていくことが茅野市を変えていくことに繋がると思います。</p> <p>今日はクローズアップ現代を見てとても勉強になりました。学校図書館は今日の放送の中に出てきたような図書館に変わってきています。永明小中学校のメディアセンターを中心に、図書館は静かにするところ、背筋を伸ばして賢い子どもだけが行くところというイメージは無くなっています。子どもたちが自由に行き、必要であれば寝転がって、友達とわいわい話しながら本を探すという姿が見られ、学ぶ場所というよりも交流の場所、出会いの場に変わってきています。学校図書館がかなり変わってきていますので、茅野市の図書館も変わっていかなくてはいけないということで4月から始めたわけですが、委員の方から私たち20年前から考えていたよというありがたいお言葉をいただいて、もう一度原点に戻れば良いのだなと思いました。</p> <p>映像の中に出てきた図書館はハードの面が私たちとは全然違いますが、この図書館で考えると例えばどんぐり図書室は今のままの形態でいいのか、2階の郷土コーナー、閲覧室の使い方はこのままでいいのかなど、今のままの施設の使い方を考えて工夫していく、空間の使い方をどうするのか考えるというのもひとつの方法なのではと思います。</p> <p>それから、立地条件についてですが確かに交通の便は悪いですが、県内の図書館の中ではかなり良い立地条件です。緑を生かして外で何かするという方法もあると思います。</p> <p>もう一つ考えたのは、図書館の目的です。これは委員長さんがずいぶん前から言われていることですが、文化共有型ではなく課題解決型の図書館に変わっていかなくてはいけないと思います。</p> <p>それから運営の方法ですが、職員と利用者の関り方についてお話がありました。色々な視点から図書館を考えてみましたが、みんなで力を合わせれば図書館はすごく変わっていくと思います。個人的に私は茅野市の図書館が大好きです。夏休みに駐車場にいたら、親子連れが何人か来たので、どこから来たのか聞くと長野市や松本市から来たという人がけっこういました。です</p>
------------	--

<p>生涯学習課長</p>	<p>ので、絵本も読めるし調べる学習の話も聞けるということで、遠くから訪れる人がいることに誇りを持っていいと思います。</p> <p>ありがとうございました。これでお時間になりましたので、次回また日程調整をさせていただいて、中川先生の話を変えてお聞きしたいと思います。では、こんな話ですというのを概略だけ説明させていただきたいと思いますので、レジュメを開いていただければと思います。「なぜ、参画と協働、生涯学習のまちづくりが必要なのか」というタイトルですが、後半の7番に生涯学習の大拠点＝図書館を見つめるという項目に図書館の役割について書かれています。前半には先ほど教育長さんからもお話がありましたように、文化教養型から地域課題解決型の図書館が必要になってきたという話です。地方自治を取り巻く環境は非常に厳しくなっています。では、どうしたらいいかということを見ると、市民のみなさんの力が必要ですし、行政も頑張るといように相互取り入れて協働でまちづくりをしていかなくてはならないということになります。そこで大事なのは、何が課題なのか？その課題はどうなっているのか？を発見したり、考えたりする学びが必要ということを前半部分で説明してあると思います。それがすなわち生涯学習というものです。その生涯学習の大拠点である図書館とは何かという話をさせていただくことになっています。委員長が常々おっしゃっているアメリカ図書館協会のモットーにも触れています。また次回先生のお話を一緒に聞いていただければと思います。では最後に委員長お願いします。</p>
<p>委員長</p>	<p>4 閉会</p> <p>こういう話をどこから始めようかと思っていたのですが、中川先生を知る機会がありまして、大変経験豊かな先生なのでお話をお聞きしてから今後に繋げていこうと思っています。今日はお話を聞けなくて残念ですが、次回ぜひ楽しみにしていただきたいと思います。先生のお話は色々な視点がありますけれども、社会の問題とは一番弱い人の所に表れるということで、弱者のお話も出てきます。興味深く聞ける話だと思いますので、こちらも楽しみにしててください。今日はどうもありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">～午後4時30分 会議終了～</p>